

（検討の背景）

- 少子化やジェンダー平等の進展など社会が大きく変化する中、女子短期大学に対する学生ニーズが低下しており、地域貢献を図る市立大学として在るべき姿を見直す必要
- 企業や地域社会が抱える地域課題への対応に、地域シンクタンクとしての大学の役割を發揮する必要
- 公立大学の選択肢が多くなく、近隣県に進学する学生が多い岐阜県において、多様な分野や学力層に対応した教育機会の充実とともに、地域経済を支える人材を育成し、県内外からの交流人口を増やす必要
→ 地域の発展を共に目指す県内の各大学の適切な役割分担も踏まえながら、**岐阜市立女子短期大学（岐女短）の発展的な将来構想**を策定

新大学の基本方針

- 一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進する**岐阜市の教育研究環境を向上**させ、**地元において多様な価値観の下で高度な能力育成**を図る機会を拡大
- **地域の研究機関**として、産学官連携や市民との協働の下で**地域課題の解決につながる知見**を提供
- **地域活性化**の観点から、**地域経済に寄与する人材育成**を行うとともに、学生の流入を通じて**定住・交流人口の増加**に貢献

取組の方向性

- 多様性のある環境での高度な能力育成の実現に向け、**男女共学・4年制化**
- 現代の地域課題に積極的に貢献するよう、岐女短が培ってきた**従来の専門分野から選定、高度化**
(栄養、服飾・建築、国際)
- 地域経済に寄与する人材育成に向け、**経営・起業に関する専門分野を新設**
(従来から岐女短が進めているデータサイエンス教育と連動、強化)
- 産学官連携や他の教育機関との連携など、**連携強化を通じて教育研究の質を向上**

岐阜市立女子短期大学将来構想に関する今後の進め方

(今後の進め方)

- 本構想は、岐阜市が目指す岐女短の将来に向けた取組の方向性を示したものであり、今後その将来の姿である新大学の設置に向けて、市民や関係者を含めた幅広い議論を経ながら構想の具体化を図る必要
- 令和7年中頃までに、より詳細な教育研究の内容や組織、人員、大学の規模や施設、新大学の設置に向けたスケジュールなど、新大学の具体像を明らかにする上で必要な事項について検討を進めるとともに、これらの事項に対応した市の財政への影響についても考慮を加え、岐阜市立新大学基本計画を作成
- 計画作成の過程では、学生や教育関係者、企業関係者など地域の大学と密接な関係性を有する方との対話を通じた意見聴取を行うとともに、新大学が永く市民に支えられる存在となるよう、広く市民全般の意見を聴取

(主な検討事項)

- 教育研究の体制及び名称
 - 学部・学科の編成や大学院の設置有無、それらの名称及び市立大学としてふさわしい大学名称の在り方
 - 新たな専門分野を含め、4年制の教育研究内容に対応した優秀な教員の募集及び採用の方法
 - 学修者本位の教育と、教育の質保証を通じた学位の国際通用性確保のための体制整備
 - 情報公開・発信の強化を通じた市民からの信頼確保と新大学の魅力向上
- 施設、規模及び費用
 - 収容定員などの規模や、教育内容に応じて必要となる施設、共学化に伴う整備等の概要
 - 施設整備が必要となる場合の費用や、新大学の運営費の試算
- 公立大学法人化の在り方
 - 地域課題の解決に資する教育研究や、外部資金の獲得等を促進する自律的な経営の必要性を踏まえた公立大学法人化の在り方
 - 法人化する場合の組織や移行スケジュール、岐阜薬科大学の法人への移行（令和7年4月予定）も踏まえた市立2大学の効率的な経営のための組織の在り方